堀りょういち市政報告 2020年10月号

（子育てパパ33才・横須賀市議会議員・根岸町在住）

【今月のトピック】

1. 市民とのまちづくりを次のステージへ
   ～上地市長との一問一答を行いました。
2. どうする？公共施設
3. 歴史遺産を巡る新たな観光の目玉
   「ルートミュージアム構想」とは？

1. 市民とのまちづくりを次のステージへ～一般質問報告

議員が直接市長に提言を行う「一般質問」に挑戦しました。一般質問をするかは議員個人の判断に委ねられますが、私は自らの考えを市長にぶつける貴重な機会と考え、手を挙げ続けています。3回目の今回は、敢えて具体的な政策でなく、大きな方向性として「市民と共に創るまちづくり」をテーマに約1時間かけて市長と議論を行いました。以下は概要です。

堀：少子高齢化・人口減少の中、本市行政は財政難と人材確保の困難という深刻な課題に直面している。多くの市民ニーズに応えるためにも、市民と協働のまちづくりをさらに推進していく必要があるのではないか。具体的には、地域に埋もれた人材を発掘したり、コミュニティ同士をつないでいくような取組が今後行政には求められるのではないか。
市長：同じ意見である。どうやってアプローチしていくのか、これから考えていきたい。

堀：くりはまみんなの公園の代替公園づくりや、追浜地区の再開発についてのワークショップには、多くの市民が参加した。こうした課題解決型の市民協働を推進していくべきでは。
市長：個別の課題解決については、ワークショップをどんどん作っていく。
堀：既存の自治会や町内会等の地縁型のコミュニティは衰退の一途である。多くの市民が参加している課題解決型の集まりの機会を増やし、地域の人材、まちづくりの人材へとつなげていく仕組みを考えるべきではないか。

堀：市民と共に行政の取組を盛り上げていく仕組みの一つとして、今後ICTの活用は重要だ。例えば、クラウドファンディング※を行政として積極的に導入するのはどうか。
市長：有効であると考えている。多くの方々の共感が得られる事業での活用を、ぜひ検討していきたい。

※インターネットを介して、不特定多数の人々から少額ずつ資金を調達すること。
具体的な事業と目標額を予め提示し、その事業に共感した人が寄付をするのが特徴です。
※詳細はQRコードから動画をご覧ください。2時間41分頃から私の質問が始まります。

◆横須賀市の来年度予算編成方針が発表されました。

新型コロナウィルスの影響で企業業績が悪化し、倒産件数の増加や解雇者数の増など、国内経済は厳しい状況です。そんな中、横須賀市でも、今年度予算と比べると15億円程度税収が落ち込む見通しで、令和3年度以降も減収傾向が続くと思われます。
これに対して、本市は、市内経済を早期に回復するための積極的な投資を行い、一方で行政内部の管理経費を徹底的に見直していくとしています。具体的には、人員の削減、ICTの活用等の業務効率化を行って、ゼロベースの見直しを行うとのことです。
これらはもちろん大切なことですが、内部管理経費のみならず、既存の事業についても同時に見直す必要があると考えています。特に、多額の管理・運営費のかかる公共施設のあり方については、これまでの計画を前倒ししてでも見直しを進めるべきではないでしょうか。

【ご案内】
公共施設のあり方について、皆さんと意見交換をするオンラインイベントを会派「よこすか未来会議」主催で開催します。無料で、どなたでも参加可能です。ぜひご参加ください。

◆第4回オンライン未来会議「どうする？公共施設～人口減少時代、私たちに必要な施設とは」
日時：2020年10月23日(金)午後7時～8時30分
申込：右のQRコードからお申し込みください。
注意事項：Zoomアプリを活用します。インターネット環境と端末が必要となります。

◆アフターコロナの光となるか？「ルートミュージアム構想」

汐入ー横須賀駅間のヴェルニー公園で、大きな建築工事が進んでいるのをご存知でしょうか。横須賀に点在する開国期以降の歴史遺産を観光の目玉として、周遊ルートとして整備する「ルートミュージアム構想」。この拠点である「(仮称)横須賀市近代遺産ガイダンスセンター」が建てられようとしています。(右は外観イメージ)
このセンターでは、VRなど最新の映像技術を駆使して市内の観光案内を行います。また、旧横須賀製鉄所副首長の官舎であるティボディエ邸を一部再現させ、集客機能も整備するとしています。
これに並行して、走水低砲台跡地や千代ヶ崎砲台跡地、貝山地下壕など歴史遺産の整備が進んでおり、加えて新規ホテルの開業、ポートマーケットリニューアル、北九州フェリーの就航等、観光拠点の整備も進んでいます。コロナ禍で冷え切った市内経済を回復させる一助となるのか。厳しくチェックしていきます。皆さんのご意見もぜひ聞かせてください。

堀りょういち・プロフィール
▼1986年本町育ち・根岸町在住/ 4人兄弟の長男 / 祖父はドブ板通り「堀整形外科」院長
▼長岡保育園→ 汐入小 → 坂本中 → 県立横須賀高校(57期)→ 早稲田大学 政治経済学部政治学科
→松下政経塾 (本市出身では初) →アクセンチュア(株)にてIT・財務業務改革に参画→
自殺対策を推進するNPO法人で、深刻な悩みを抱える人の相談・支援に従事。
▼2019年に横須賀市議会議員に初当選。現在2年目。
所属　根岸町3丁目町内会・大津観光協会・ドブ板通り商店街振興組合・本町青年会・
消防団第3分団・横須賀剣道連盟・日本子ども虐待防止学会・ファザーリングジャパン
趣味　剣道(三段)、クラシックピアノ、スポーツ吹矢、タップダンス(予定)
←公式LINE　堀りょういち　horitter_yksk　ryoichi_hori

事務所：〒239-0807 横須賀市根岸町3-15-7-1303　電話：080-4327-7787　発行元：堀りょういち事務所